

目的 スカートの形態には、曲げ剛さ、ドレープ性等、布の持つ特性、厚さ、重さ、パターン等、種々の項目が影響を及ぼす。本研究では、同一素材、同一パターンを用いて、スカート丈、地の目のみ変化させ、フレアースカートの形態評価を客観的に数値でとらえ、各種の形態的特徴を把握し、さらに美しさの評価を行う。得られた形態的特性値、及び、美しさの評価値から、スカート丈、地の目が、フレアースカートの形態に及ぼす影響を調べ、関係を明らかにすることを目的とした。

方法 スカート丈を3段階に変化させ、さらに、各々のスカート丈において、異なる4種の地の目で、フレアースカートを作成し、人台に着衣させ、各種のスカートの裾形状曲線を描写し、ドレープ係数、ノード数、ノード指数、波高変動率を求めた。さらに、得られたノード数、ノード指数から美しさの評価値を算出し、分散分析を行い、美しさに影響を及ぼす要因を推定した。

結果 ドレープ係数、ノード指数、いずれも、スカート丈に寄与し、どの地の目においても、スカート丈が長くなるに従って小さい値であった。これに対し、地の目に関しては寄与がほとんど認められなかった。波高変動率は、地の目による変化がみられ、中央バイヤスのものの値が小さくなった。美しさの評価値も、地の目に関与し、中央バイヤスのものが大となる傾向がみられた。スカートの形態には、スカート丈、地の目、ともに関与し、中央バイヤス地のスカートが、ドレープの均一性からも最も美しく、これは、美しさの評価値からも実証された。